



News Letter 2014 No.1

日本観光ホスピタリティ教育学会学会報

通巻 第37号 発行 2014年5月26日

◇学会事務局：杏林大学外国語学部 古本泰之、野口洋平
〒192-8508 八王子市宮下町 476 杏林大学外国語学部
Tel 042-691-0011 (代表) Fax 042-691-8617 (共用)
email: jimujsthe.org ◇学会 URL : <http://jsthe.org>
◇編集・発行人：野口洋平 (yohei_noguchi@icloud.com)

【2014年度総会のご案内】

2014年6月21日(土)に、東海大学代々木キャンパスにおいて2014年度総会・講演会を開催します。講演会およびシンポジウムには、会員外の皆さまも無料でご参加いただけます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

なお、総会においては議決がございますので、欠席される場合には必ず同封のハガキに必要事項をご記入の上、6月13日(金)までに到着するよう手続きをお願いいたします。最新情報は学会ウェブサイト(<http://jsthe.org>)に随時掲載します。

1. 開催日 2014年6月21日(土)

2. 会場 東海大学代々木キャンパス

メイン会場 4号館5階 講堂

〒151-8677 東京都渋谷区富ヶ谷 2-28-4

※ 交通アクセスは別紙をご参照ください。

3. 日程

11:00~12:30 理事会 (4号館5階 4504教室)

12:30~13:30 評議員会 (〃 4504教室)

13:30~ 受付 (4号館5階 講堂前)

14:00~14:05 開会式 (〃 講堂)

14:05~14:55 総会 (〃 講堂)

15:10~16:10 講演会 (〃 講堂)

「2020東京オリンピック・パラリンピックとスポーツツーリズム」

講師：京都大学経営大学院 特命教授・

元観光庁 長官 溝畑宏氏

16:25~17:55 シンポジウム (〃 講堂)

「オリンピックレガシーと東京オリンピック・パラリンピック」

パネリスト：京都大学経営大学院 特命教授・

元観光庁 長官 溝畑宏氏

奈良女子大学 准教授 石坂友司氏

東海大学 専任講師 小澤考人氏

モデレーター：小畑力人氏 (追手門学院大学)

17:55~18:00 閉会式 (〃 講堂)

18:10~ 懇親会 (4号館2階 学生食堂)

※ プログラム内容・時間・教室等は変更する場合がありますので、ご了承下さい。

4. 参加費・懇親会費

<参加費>

会員・準会員・一般・学生とも無料。

総会を除くすべてのプログラムに会員外の皆様もご参加いただけます。(要事前申込み、懇親会のみ有料)

<懇親会費>

会員・一般：4,000円 準会員・学生：3,000円

※ 大会当日に受付でお支払い下さい。

5. 参加申込書・委任状の手続き

同封のはがきに、総会・講演会の出欠等、必要事項をご記入の上、期限までに郵送して下さい。

なお、会員外で参加を希望される方は、同封の一般向けチラシ裏面の申し込みフォームにご記入の上、学会事務局まで電子メールまたはFAXにてお申し込み下さい。

参加申込・委任状締切

2014年6月13日(金)(必着)

<学会事務局>

〒192-8508 東京都八王子市宮下町 476

杏林大学外国語学部 野口洋平研究室

電話：042-691-0011 (代表)

FAX：042-691-8617 (共用)

e-mail：jimujsthe.net

6. その他

総会・懇親会のご案内は学会ウェブサイトからもダウンロードしていただけます。

学会ウェブサイト：<http://jsthe.org>

【理事会報告】

<2013年度 第6回理事会(定例)>

- (1) 日時: 2014年3月1日(土) 11:00~12:30
- (2) 場所: 中村学園大学 西4号館2階会議室
- (3) 出席: 村上会長、小畑副会長、浅岡理事、海老澤理事、館野理事、丹治理事、中村理事、古本理事、吉田理事、宍戸監事、安島監事、鈴木幹事、野口幹事、安江幹事
- 欠席: 市岡理事、小槻理事、高嶋幹事 (委任状1通)

(4) 議題

- 1) 第13回全国大会について
 - ・ 全体のスケジュールや役割について実行委員から説明がありました。
 - ・ シンポジウムモデレーターから進行内容について説明がありました。
 - ・ 予算案について実行委員から説明がありました。
- 2) 2014年度総会・講演会について
 - ・ 総務担当理事から説明がありました。
 - ・ 6月21日(土)開催、会場は東海大学代々木キャンパスと決まりました。
 - ・ プログラムについて検討されました。
 - ・ 東海大学学生の他、学生団体に運営サポートを運営する事が検討されました。
- 3) 編集委員会報告
 - ・ 編集委員から説明がありました。
 - ・ 機関誌第7号は3月末までに発行予定です。
 - ・ 機関誌第8号は2月に原稿募集の告知を行いました。
- 4) 入退会審査
 - ・ 入会 正会員: 村上心一郎(ノースアジア大学)
 - ・ 退会 正会員: 鹿内健一(大阪成蹊短期大学)
 - ・ 審査後の会員は152名(正会員139名、準会員10名、名誉会員2名、特別会員1名)
- 5) その他
 - ・ 次期役員改選に関して、会長より推薦委員が任命されました。
 - ・ 2014年10月の日本学術会議会員及び連携会員の推薦者について、学会役員のうち条件を満たす鈴木涼太郎幹事、安江枝里子幹事を推薦することが決まりました。
 - ・ 5月13日および、秋の研究会テーマが検討されました。

(以上)

<2014年度 第1回定例理事会>

- (1) 日時: 2014年5月13日(土) 13:00~15:00
- (2) 場所: 東海大学代々木キャンパス5号館4階5404教室
- (3) 出席者: 村上会長、小畑副会長、浅岡理事、海老澤理事、館野理事、丹治理事、中村理事、古本理事、吉

田理事、宍戸監事、鈴木幹事、野口幹事
委任状提出欠席者: 益山副会長、市岡理事、小槻理事、安島監事、高嶋幹事、安江幹事

(4) 議題

- 1) 第13回全国大会の評価と反省
 - ・ 大会決算について実行委員より説明がありました。
 - ・ 全体の運営・内容について振り返りが行われ、次回に向けた改善点などが検討されました。
 - 2) 2014年度総会・講演会について
- ①講演会・シンポジウム
- ・ 総務担当理事から資料に沿って説明があり、内容及び役割を検討しました。
- ②総会
- ア. 事業報告・事業報告・決算・予算
- ・ 事務局から資料に沿って説明がありました。
 - ・ 通常総会の内容・進行について確認されました。
 - ・ 平成26年度一般会計予算について確認されました。
 - ・ 評議員会の開催について検討されました。
 - ・ 理事会旅費規程の策定と運用について検討されました。
- イ. 研究助成制度及び研究倫理規定策定に向けて
- ・ 研究助成基金について、内部留保から適正な額を支出し、特別会計を設けることが検討されました。(継続審議)。
 - ・ 研究助成基金は、「観光ホスピタリティ教育研究振興基金」等の名称を設けることとします。
 - ・ 同時に研究助成基金に関する規定の検討を開始します。
- ウ. その他
- ・ 次期役員改選について、推薦委員会からの検討結果報告があり、検討しました。
- 3) 編集委員会報告
 - ・ 機関誌編集委員長変更について、規定に則り会長の指名により浅岡理事が新委員長に就任しました。
 - ・ 機関誌第8号の進捗状況と今後の編集方針について説明がありました。
 - 4) 次回全国大会
 - ・ 全国大会開催日程が2015年2月28日(土)・3月1日(日)に決まりました。
 - ・ 開催校を立教大学新座キャンパス(仮)とし、引き続き他の候補も検討します。
 - ・ 大会テーマは引き続き検討します。
 - 5) 入退会審査
- 入会: 正会員 吉本孝行(国際短期大学)、植松大介(東京観光専門学校)、佐藤勝秀(キャセイパシフィック航空)、小林美波(国際短期大学)、橋本俊哉(立教大学)
- 退会: 正会員 大津ゆり(高崎商科大学短期大学部)、須藤眞一(九州保健福祉大学)、成澤義親(富山国際大学)、白坂蕃(帝京大学)
- ※ 入退会審査後の会員数: 153名(正会員140名、

準会員 10 名、特別会員 1 団体、名誉会員 2 名)

6) その他

- 総務委員よりニューズレターの発行予定について説明がありました。
- 次回の理事会は、6月21日(土) 11:00 から東海大学代々木キャンパスにて開催します。

(以上)

【機関誌編集委員会】

機関誌『観光ホスピタリティ教育』第7号が、2014年3月末に発行されました。会員の皆様には、今回の会報と一緒に送付されます

(以上)

【第13回全国大会報告】

2月28日(金)、3月1日(土)、2日(日)の日程で第13回全国大会が行われました。開催にあたっては、会場校の中村学園大学の甲斐論学長はじめ教職員の皆さま、学生スタッフの皆さんに多大なるご協力をいただきました。この場をお借りして改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

大会テーマ：

地域を支える観光ホスピタリティ人材育成とは
—九州の事例に学ぶ—

1. 主催：日本観光ホスピタリティ教育学会
協 力：観光九州アカデミア
2. 開催日：2014年2月28日(金)、3月1日(土)、
3月2日(日)
3. 会 場：中村学園大学

2月28日(金) 午後から「プレカンファレンス」が行われました。福岡市役所に集合し、福岡オープントップバスで市内を視察しました。そのあと BIZCOLI に移動し、九州経済調査協会研究主査の島田龍様をお招きして研究会を実施しました。終了後には、島田氏を囲んで懇親会を行いました。

3月1日(土) は、理事会、開会式のあと研究・教育実践論文が行われました。そのあと「インバウンドを中心とした九州観光の現状とこれから」のタイトルで国土交通省九州運輸局企画観光部長の橋本昌典氏からの基調講演がありました。引き続き、シンポジウム「地域を支える観光ホスピタリティ人材育成とは—九州の事例に学ぶ—」が行われ、コーディネーターの古本泰之氏(杏林大学)、パネリストの橋本昌典氏(国土交通省九州運輸

局)、鶴田浩一郎氏(鶴田ホテル・観光カリスマ)、福島規子氏(九州国際大学)が登壇しました。最後に懇親会が行われました。

3月2日(日) は、ワークショップ「観光ホスピタリティ教育における学生活動」が行われました。学生セッション(日本学生観光連盟、九州国際大学、長崎国際大学、中村学園大学)と教員セッションの2部構成で、それぞれ話題提供者と会員とのあいだで活発な意見交換が行われました。最後に閉会式が行われ、大盛況のうちに全国大会を終えることができました。

【研究会報告】

2014年度 第1回研究会

日 時 2014年5月17日(土) 15時~17時

会 場 東海大学代々木キャンパス 4号館5階

テーマ 「地域再生のカギは若者のチャレンジにあり!

~長期実践型インターンシップの事例~

講 師 伊藤淳司氏

NPO 法人 ETIC. (エティック)

チャレンジ・コミュニティ事業部 マネージャー

研究会はワークショップ形式で行われ、まずは参加者の所属する教育機関での長期インターンシップ(派遣対象はまちづくり団体や企業)の実践状況と課題について共有しました。次に、伊藤氏より高等教育機関におけるインターンシップの現状、さらには参加者がまとめた課題を解決する手がかりとなるような、地域連携を重視した観光事業者と大学生との長期インターンシップの実践事例を、運用の枠組みや実行していく上での現実的な問題も含めつつご紹介いただきました。

最後に質疑応答形式で、観光ホスピタリティ教育におけるインターンシップの課題や解決策などについて意見交換を行いました。インターンシップの現場に携わる機会の多い参加者にとって、非常に実践的な学びの時間となりました。





(以上)

【編集人より】

会報では、会員の皆様から提供された観光ホスピタリティ教育の情報及び書籍紹介を掲載しております。書籍紹介は、原則として本学会会員が執筆した発行から2年以内の書籍（定期刊行物を除く）を扱います。ぜひ、情報を編集人までお寄せ下さい。

ご協力をお願い申し上げます。

編集・発行人 野口洋平 (杏林大学)
E-Mail : yohei_noguchi@icloud.com
FAX : 042-691-8617 (大学共用)

■
お詫びと訂正

総会・講演会のパネリスト、小澤先生のお名前の表記に誤りがありました。正しくは、小澤考人先生です。大変申し訳ございませんでした。お詫びとともに訂正いたします。

(2014年6月7日追記)